



岡山大学法学部だより



※ 本メールは法学部の教職員、在学生、卒業生および岡山大学法学部ホームページから登録された方にお送りしています

第 96 号(2014 年 9 月 30 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

朝晩がぐっと涼しくなってきました。

目次

- エストニア便り～「北の国」から～（最終回）
- 法学部からのお知らせ

- エストニア便り～「北の国」から～（最終回）

## バルト海の島々

今回のエストニア滞在中にバルト海に浮かぶ同国で最も大きなサアレマアとヒューマアの 2 島を訪れました。これまで取り組んできました環バルト海地域協力に関わる研究の一環として、サアレマア島には 1997 年に、また、ヒューマア島には 2010 年にそれぞれ一度ずつ訪れたことがありますので、今回の両島の訪問はこれで二度目ということになります。冷戦時代、環バルト海地域は欧州における東西対立の「前哨」として地政学的にも重要な位置を占めていました。この時代、ここでは、ドイツは東西に分かれ、デンマークとノルウェーが NATO に加盟する一方、ソ連とポーランドは WTO に加盟し、また、その中間に中立政策を採るスウェーデンとフィンランドが位置するという、いわゆる「ノルディック・バランス」の名で知られる微妙な力の均衡状態が維持されており、サアレマアとヒューマア両島も、こうした東西対立に伴う政治的かつ軍事的緊張関係故に、一般の人々の訪問が厳しく制限される「立ち入り禁止ゾーン」となっていました。

冷戦の終結は同地域をとり巻く環境を一変させ、現在、数多くの観光客がサアレマアやヒューマアをはじめとするバルト海の島々を自由に行き来することができるようになりました。今回の訪問では予てより訪ねてみたかったこの 2 島にある第二次大戦及び冷戦時代の主要な軍事上の史跡を見て回りました。特に、サアレマア島では独ソ戦における激戦地となった同島南西部に位置するスルヴェ半島を訪れました。この地は 1941 年の独ソ戦の開始時に赤軍がエストニア領内でドイツ軍に抗して踏み止まって戦った軍事上の最後の拠点であり、また、1944 年の赤軍の反攻時には逆にドイツ軍が最後まで徹底抗戦した、文字通り独ソ戦における同国有数の激戦地となったところです。そこには堡壘や塹壕といった軍事施設の痕跡が生々しく残っており、独ソ両軍の戦没者たちを追悼する数多くの記念碑が往時の激戦の模様を今も私たちに偲ばせてくれます。

スルヴェ半島におけるこの戦いをめぐっては、エストニア人兵士が独ソ両軍の最前列に立たされ、意に反して同胞同士で戦わざるを得なかったという第二次大戦時に独ソ両国による占領を強いられた小国エストニアの歴史的悲話も存在しており、今回この地を訪れたことは、この国における第二次大戦に関わる歴史認識をめぐる問題の複雑さについて改めて考えさせられる契機となりました。冷戦の終結とそれに続く旧ソ連東欧地域への EU の拡大プロセスを経て、環バルト海地域は現在、EU による広域欧州の安定化に向けた政策を成功裡に進める上での一翼を担っており、サアレマアとヒューマア両島もフィンランドのオーランド諸島やスウェーデンのゴットランドといった他国にあるバルト海の島々との様々な交流を通じて、こうした EU による欧州統合の深化のプロセスを下支えする上で一定の重要な役割を果たしていると考えられます。

この 9 月で私のエストニアでの在外研究も終わりとなりますが、未だロシアの影を色濃く残した小国エストニアの今後をこれからも見守っていきたいと思っております。帰国後は今回の海外渡航の経験を岡大での教育と研究に活かしていけるように頑張りたいと思います。最後にこの貴重な留学の機会を与えて下さった岡大法学部の先生方と 5 回にわたりエストニアからの私のお便りをご愛読頂いたメルマガ読者の皆様にご挨拶の意を表させていただきます、この拙きエッセイの終わりとしさせていただきます。

法学部教授 河原 祐馬

-----  
○ 法学部からのお知らせ  
-----

☆法学部オープンキャンパス

8月に予定していた法学部のオープンキャンパスが台風のため、中止になりご迷惑をおかけいたしました。ホームカミングデー開催日と同じ10月18日(土)に改めて開催します。高校生のみなさん、保護者のみなさまのお越しをお待ちしています。

開催日：2014年10月18日(土)

場所：岡山大学文法経学部講義棟20番教室

当日のスケジュール(予定)

10:00～10:10 開始・学部長あいさつ

10:10～10:30 法学部DVD上映

10:30～11:00 教務委員長説明

11:00～11:10 在校生スピーチ(1名)

11:10～11:30 在校生および教職員による質疑応答

☆岡山大学法学部 第7回ホームカミングデー

今年も法学部のホームカミングデーを開催します。みなさまのお越しをお待ちしています。

2014年10月18日(土)

講演会

時間：14:30～16:00

場所：岡山大学文法経学部講義棟20番教室

演題：「戦後のエネルギー政策について一過去・現在そしてこれから」

講師：小長 啓一氏(元通商産業事務次官、経済産業調査会会長/弁護士)

懇親会

時間：16:30～18:30

場所：岡山大学生協ピーチユニオン3階

会費：2000円(在学生は無料)

- 
- ・本メルマガは、毎月2回程度配信しています。
  - ・法学部の詳細情報に関しては、HPも併せてご覧ください。  
法学部HP <http://www.law.okayama-u.ac.jp/>
  - ・本メルマガには返信なさらないようにお願いします。
  - ・本メルマガの登録・解除は、以下のURLにてお願いします。  
<http://www.law.okayama-u.ac.jp/local/mail/>
  - ・ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 [joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp](mailto:joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp) まで。